

分野: CO2低排出、挑戦的なロジスティクス、航空貨物



FLYING WHALESは、「最小限の環境負荷で内陸部を開発する」という強い使命をもっています。そのため、一度も着地することなく、最大60トンもの貨物を飛行船で輸送する、先駆的な航空貨物ソリューションを開発しています。

2012年にフランスで創立し、2017年に正式にプログラムを開始する前に、技術面、財政面、および運用上のフィージビリティ調査を行いました。以来、FLYING WHALESは、世界最大の飛行機であるLCA60T(高い積載能力をもつ飛行船)の設計に向け、40社以上の大手航空関連企業を集めてきました。

LCA60Tは、林業、再生可能エネルギー、建設および開発、産業用貨物の運搬、人道支援および災害救助という5つの主要分野に対応します。

FLYING WHALESは、LCA60Tの製造と運用の両方を行っています。カナダ、中国、フランスに製造拠点を有し、2032年までに、150機以上のLCA60Tを運航し、世界中で物流事業を展開する予定です。

社会が抱える問題とその解決策

- 飛行船LCA60Tは、アクセス困難な陸の孤島と化した地域の持続可能な発展を支援します。
- エネルギーや建設分野で必要な工業部品の中には、その大きさゆえに輸送が非常に困難になっているものがあります。LCA60Tを使えば、こうした輸送も容易になります。
- 輸送はCO2排出の大きな要因です。FLYING WHALESはCO2排出量の少ない輸送の実現に向けて取り組んでいます。

自社・製品の強み

- FLYING WHALESのLCA60Tは、輸送コストの削減、輸送時間の短縮、安全性の向上、CO2排出量の削減など、お客様にとって大きな価値をもたらします。
- 従来の輸送手段では不可能だった輸送を可能にします。
- 地上インフラの開発を必要とせず、ホバリングで60トンの積載貨物を積み下ろしできる未だかつてない性能を有しています。

ビジネスモデル

FLYING WHALES Industryが飛行船LCA60Tを製造し、FLYING WHALES ServicesがLCA60Tを運航し、最終顧客へターンキー物流サービスを提供します。

Hack Osakaの参加目的

- 事業調査および開発(新規市場を含めすでに主要5市場を選定済み)
- 日本とアジアに根を下ろした活動と運営に関して戦略的パートナーシップを結びたい
- FLYING WHALESの研究開発テーマにおける技術提携
- ベンチャーキャピタル・投資家の調査(3回目の資金調達の間もなく終了します)

創立年	2012
ウェブサイト	https://www.flying-whales.com/
所在地	パリ(フランス)
資金調達	1億米ドル(約114億円)以上
世界市場での実績	フランス、カナダ
日本語対応	×(Hack Osaka 2022商談会では逐次通訳対応)